

事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置

注1

北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス研究科 マテリアルサイエンス専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画課

職名・氏名 ホウキカカ!チヨウ 法規係長 タカハシ 高橋 ヨシハル 賞晴

電話番号 0761-51-1017

（夜間） 0761-51-1111

F A X 0761-51-1919

e-mail houki@jaist.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

目 次

1	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・	1 頁
2	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	6 頁
3	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	11 頁
4	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	12 頁
5	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・	13 頁

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学

(2) 大学名

北陸先端科学技術大学院大学

(3) 大学の位置

〒923-1292
石川県能美市旭台一丁目1番地

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は、平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが、開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。）
 3 定員を変更した場合は、備考欄に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の 名称（学位）	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
マテリアルサイエンス研究科 マテリアルサイエンス専攻 (博士前期課程)	2年	125人	250人	
修士（マテリアルサイエンス）				
マテリアルサイエンス研究科 マテリアルサイエンス専攻 (博士後期課程)	3年	37人	111人	
博士（マテリアルサイエンス）				

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

博士前期課程

報告年度 区 分	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	125人 (-)	125人 (-)	0.68倍	
志願者数	(-) 141人	(-) 136人		
受験者数	(-) 138人	(-) 132人		
合格者数	(-) 135人	(-) 110人		
B 入学者数	(-) 89人	(-) 83人		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.71	(-) 0.66		

博士後期課程

報告年度 区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	37人 (-)	37人 (-)	()	0.36倍	
志願者数	(-) 23人	(-) 11人	()		
受験者数	(-) 23人	(-) 10人	()		
合格者数	(-) 21人	(-) 9人	()		
B 入学者数	(-) 18人	(-) 9人	()		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.48	(-) 0.24	()		

(注) 1 () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4)－③ 調査対象研究科等の在学者の状況

博士前期課程

報告年度 学 年	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[-] 86	[6] 86	平成21年度1年次：平成21年4月入学者及び平成20年10月入学者
2年次	[-] -	[-] 84	
計	[-] 86	[6] 170	

博士後期課程

報告年度 学 年	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備 考
1年次	[1] 10	[7] 15	[]	平成21年度1年次：平成21年4月入学者、平成21年1月入学者、平成20年10月入学者及び平成20年7月入学者
2年次	[-] -	[1] 10	[]	
3年次	[-] -	[-] -	[]	
計	[1] 10	[8] 25	[]	

(注) 1 [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

博士前期課程

区 分 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する 退学者数の割合 （a/b）
平成２０年度	計 [0] 2	計 [2] 8 9	[0 %] 2. 2 %
	うち平成２０年度入学者 2人	うち平成２０年度 8 9人	
	(主な退学理由) 健康上の理由のため 1 進路変更のため 1		
平成２１年度	計 [0] 0	計 [6] 1 7 2	[0 %] 0 %
	うち平成２０年度入学者 0人	うち平成２０年度 8 9人	
	うち平成２１年度入学者 0人	うち平成２１年度 8 3人	
	(主な退学理由)		

博士後期課程

区 分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [0] 2	計 [5] 18	[0%] 11.1%
	うち平成20年度入学者 2人	うち平成20年度 18人	
	(主な退学理由) 就職のため 1 除籍のため 1		
平成21年度	計 [0] 0	計 [8] 27	[0%] 0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 18人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 9人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下	・学力不足	・他の教育機関への入学・転学	・海外留学
・就職	・学生個人の心身に関する事情	・家庭の事情	・除籍
			・その他

2 授業科目の概要

＜マテリアルサイエンス研究科 マテリアルサイエンス専攻 博士前期課程＞

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
導入講義		A 材料物理概論Ⅰ	1・2前		2		-1	1				より適した名称への見直しに伴い平成20年度から科目の名称を変更及び平成21年度から担当教員の構成変更(21)	
		B 材料物理概論Ⅱ	1・2前		2		1	-1			より適した名称への見直しに伴い平成20年度から科目の名称を変更及び平成21年度から担当教員の構成変更(21)		
		材料化学概論	1・2前		2		1	-1			担当准教授が教授へ昇任(21)		
		生物機能概論	1・2前		2		1		1				
		英語（テクニカルコミュニケーション）Ⅱ	1・2前後		2								
専門講義	専門科目	量子力学特論	1・2前		2		1	-2	1			担当准教授が教授へ昇任(21) 担当教員の退職に伴う兼任教員への変更(21)	
		統計力学特論	1・2後		2			-1					
		応用電磁気学特論	1・2前		2		1	-1			教育課程の見直しに伴う教員の変更(21) 担当教員の配置換えに伴う兼任教員から専任教員への変更(21)		
		材料物性設計特論	1・2前		2		1						
		固体物理特論第一	1・2前		2				1		担当教員の退職に伴う変更(21) 教育課程の見直しに伴う教員の変更(21)		
		応用物性数学特論	1・2前後		2		-2	1					
		有機分子化学特論	1・2前		2			-2	1				
		有機材料物性特論	1・2前		2		1						
		無機材料化学特論	1・2前		2				1				
		物質構造解析特論	1・2後		2				1				
		触媒化学特論	1・2後		2		1						
		高分子設計特論	1・2後		2		1						
		高分子物性特論	1・2前		2		-1				担当教員の配置換えに伴う専任教員から兼任教員への変更(21) 担当教員が理事に就任したことに伴い平成20年度から変更(21)		
		機能性材料合成特論	1・2前		2		-1	1					
		生物有機化学特論	1・2前		2		-1	2			担当教員が退職したことに伴う教員の変更(21) 担当准教授が教授へ昇任(21)		
		生体機能材料特論	1・2前後		2		2	-2					
		生体分子機能特論	1・2前		2		1				専任教員の配置及び退職に伴う変更(21) 専任教員の配置及び退職に伴う変更(21)		
		生体材料分析特論	1・2後		2				1				
マテリアルサイエンス特論A（研究論文）	1～2通	8			-1	1	5	-1	4	9	6	専任教員の配置及び退職に伴う変更(21)	
マテリアルサイエンス特論A（課題研究）	1～2通	2			-1	1	5	-1	4	9	6	専任教員の配置及び退職に伴う変更(21)	
マテリアルサイエンス研修A	1～2通	2			-1	1	5	-1	4	9	6	専任教員の配置及び退職に伴う変更(21)	
材料物性特論	1・2前後		2									専任教員の配置及び退職に伴う変更(21)	
材料機能特論	1・2前後		2										
専門講義	専門講義	応用機器分析特論	1・2後		2		3	-1				担当教員の退職に伴う変更(21)	
		極限材料特論	1・2後		2		1	-2	1		1	隔年開講 担当教員の退職に伴う変更(21) 隔年開講	
		デバイス物理特論	1・2後		2		1					担当教員の退職に伴う変更(21)	
		固体物理特論第二	1・2後		2		-1						
		エレクトロニクス特論	1・2後		2							担当教員の退職に伴う変更(21)	
		複合材料特論	-1-2後未開講		2								
		機能性界面特論	1・2前		2		1					隔年開講	
		医用生体材料特論	1・2前		2							隔年開講	
		医薬高分子特論	1・2前		2		1			1		隔年開講	
		物性評価特論	1・2後		2								
機能評価特論	1・2後		2										
英語（テクニカルコミュニケーション）Ⅲ	1・2前後		2								科目構成の見直しに伴い平成20年度から科目を追加(21)		
プロジェクト・マネジメント（中級）	1・2前		2										
		人間科学	1・2前		2								担当教員の病気のため平成20年度から未開講(21)
		企業経営	1・2前		2								
		世界経済	1・2前		2								
		国際特許法	1・2前		2								
		科学哲学・科学史	1・2前		2								
		英語（テクニカルコミュニケーション）Ⅰ	1・2前後		2								
		一般ビジネス論	1・2前		2								
		一般メディア論	-1-2後未開講		2								
		科学技術者の倫理	1・2前		2								
		ベンチャー・ビジネス実践論Ⅰ	1・2後		1								
		ベンチャー・ビジネス実践論Ⅱ	1・2前		2								
		先端科学セミナーⅠ	1・2通		1								

共通科目	先端科学セミナーⅡ	1・2通	1								
	ロジカルシンキング	1・2後未開講	2								担当教員の病気のため平成20年度から未開講(21)
	学際コミュニケーション論	1・2前	2								
	技術経営入門	1・2後	2								
	地域再生システム論	1・2後	2								
	統合科学技術概論Ⅰ	1・2前後	2								
	統合科学技術概論Ⅱ	1・2前後	1								
	ライティング技術	1・2前後廃止	-2								科目構成の見直しに伴い平成20年度から廃止(21)
	プレゼンテーション技術	1・2前後廃止	-2								科目構成の見直しに伴い平成20年度から廃止(21)
	ディスカッション技術	1・2前後廃止	-2								科目構成の見直しに伴い平成20年度から廃止(21)
	言語表現技術	1・2前後	2								科目構成の見直しに伴い平成20年度から科目を追加(21)
	異文化間コミュニケーション(研究入門)	1・2後	2								科目構成の見直しに伴い平成20年度から科目を追加(21)
	プロジェクト・マネジメント(初級) (基礎)	1・2前	2								科目構成の見直しに伴い平成20年度から科目の名称を変更(21)
	イノベーションセミナーⅠ	1・2通	1								科目構成の見直しに伴い平成20年度から科目を追加(21)
	イノベーションセミナーⅡ	1・2通	1								科目構成の見直しに伴い平成20年度から科目を追加(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	60	0	63	3 [0]	62 [2]	0 [0]	65 [2]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	複合材料特論	2	1・2後		選択	担当教員の退職のため未開講。代替措置有。
2	一般メディア論	2	1・2後		選択	担当教員の病気のため未開講。代替措置無。
3	ロジカルシンキング	2	1・2後		選択	担当教員の病気のため未開講。代替措置無。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	ライティング技術	2	1・2前後		選択	学生がより修得しやすいよう科目構成を見直し、ライティング技術とプレゼンテーション技術とディスカッション技術を統合し、異文化間コミュニケーション（研究入門）及び言語表現技術の2科目として開設することに伴う廃止。代替措置有。
2	プレゼンテーション技術	2	1・2前後		選択	学生がより修得しやすいよう科目構成を見直し、ライティング技術とプレゼンテーション技術とディスカッション技術を統合し、異文化間コミュニケーション（研究入門）及び言語表現技術の2科目として開設することに伴う廃止。代替措置有。
3	ディスカッション技術	2	1・2前後		選択	学生がより修得しやすいよう科目構成を見直し、ライティング技術とプレゼンテーション技術とディスカッション技術を統合し、異文化間コミュニケーション（研究入門）及び言語表現技術の2科目として開設することに伴う廃止。代替措置有。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目・未開講科目については、概ね代替措置を講じており、選択科目でもあることから学生の履修に対する影響はないと考える。そのうち廃止科目については、カリキュラムの充実を図るために若干の見直しを行ったものであり、実質的には科目の統合・分割である。
なお、学生に対しては、廃止科目・未開講科目ともにシラバスやHP等により周知済みである。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.09$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<マテリアルサイエンス研究科 マテリアルサイエンス専攻 博士後期課程>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考						
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手							
専 門 科 目	固体・表面電子構造特論	1・2・3前		2		-1	2	1			講義内容の充実を図り平成20年度から 担当教員を追加(21) 隔年開講						
	光物性特論	1・2・3前		2		1		1	-1		担当教員が退職したことに伴い平成20 年度から変更(21) 隔年開講						
	量子現象特論	1・2・3後		2			1	1			隔年開講						
	先端デバイス特論	1・2・3前		2			1		-1		担当教員が退職したことに伴い平成20 年度から変更(21) 隔年開講						
	電子機能特論	1・2・3前		2		1	-1	-1	2		担当准教授の教授への昇任及び講義内 容の改善を図り担当教員を追加(21) 隔年開講						
	先端計算材料科学特論	1・2・3後		2													
	分子設計特論	1・2・3前		2		-1	2				担当教員が理事に就任したことに伴い 平成20年度から変更(21) 隔年開講						
	材料設計特論	1・2・3前		2		-2	1				担当教員の配置に伴う専任教員から 兼担教員への変更(21) 隔年開講						
	材料形態特論	1・2・3前		2		-1	2	-1		-1	2	講義内容の充実を図り担当助教を追加 及び担当准教授が教授へ昇任(21)隔年 開講					
	先端生体機能特論	1・2・3前		2		-1				1		担当教員の退職に伴う変更(21) 隔年開講					
	先端生体材料特論	1・2・3前		2		1	1			-1		担当教員が退職したことに伴い平成20 年度から変更(21) 隔年開講					
	マテリアルサイエンス特論B	1～3通	6				-1	1	5	-1	4	9	6	専任教員の配置及び退職に伴う変更 (21)			
	マテリアルサイエンス研修B	1～3通	4				-1	1	5	-1	4	9	6	-1	2	2	専任教員の配置及び退職に伴う変更 (21)
	物性科学論	1・2・3前後		2													
	機能科学論	1・2・3前後		2													
	先端材料物理特論	1・2・3前後		2													
	先端材料化学特論	1・2・3前後		2													
	先端生物工学特論	1・2・3前後		2													
	サイエンティフィック・ディスカッション (上級)	1・2・3前後		2													
	プロジェクト・マネジメント(応用)	1・2・3後		2													科目構成の見直しに伴い平成20年度か ら科目の名称を変更(21)

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	18	0	20	2	18	0	20	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}}$	=	0.00
---	---	------

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は，事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[] 内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- 3 「(3) 未開講科目」は，配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は，設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況 【該当なし】

大学 の 名 称	北 陸 先 端 科 学 技 術 大 学 院 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<マテリアルサイエンス研究科 マテリアルサイエンス専攻 博士前期課程>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
28	20	48	0	30	22	52	0	
(33)	(14)	(47)	(0)	[2]	[2]	[4]	(0)	

<マテリアルサイエンス研究科 マテリアルサイエンス専攻 博士後期課程>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
28	20	48	0	30	22	52	0	
(33)	(14)	(47)	(0)	[2]	[2]	[4]	(0)	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合：△1）

5 その他全般的事項

<マテリアルサイエンス研究科 マテリアルサイエンス専攻>

情報提供に関する事項

① 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ ☒ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成21年8月頃)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.jaist.ac.jp/~kouhou/General_info/houjin/index.html)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ ☒ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成21年8月頃)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.jaist.ac.jp/~kouhou/General_info/houjin/index.html)

(注) 「情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス：d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AO報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。